

授業科目 地域看護学概論

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	看護	
		開講時期	後期	必修・選択	必修	
		単位数	2	時間数	30	
【概要・一般目標：GI0】 地域で行われる看護における、目的、対象、方法の概要について理解し、地域看護の4分野である行政看護、産業看護、学校看護、在宅看護の特徴を考察する。						
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 地域看護とは何かを考え、その特徴を理解する。 2. 地域看護の対象を理解する。 3. 地域で活動する看護職が地域の人々の健康を支援するために何処で何をどのように実践しているか説明する。 4. 地域看護活動の歴史から地域看護の方法と意義を知る。 5. 地域看護活動を実践するために必要な理論を知る。 6. 地域看護活動を実践するための理論を活用する。						
回数	授業計画・学習の主題				SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	地域看護学の目的と対象を考える。				1	講義
2	自分自身の生活と環境を関連づける。				2	講義・グループワーク
3	日本における地域の人々の健康問題の変遷と地域看護活動を知る。				3、4	講義
4	地域看護活動の場の特徴と活動方法、役割を知る。(1) 1)行政の場 2)在宅の場 3)産業の場 4)学校の場 5)施設の場				3	講義
5	地域看護活動の場の特徴と活動方法、役割を知る。(2)				3	グループワーク
6	地域看護活動の場の特徴と活動方法、役割を知る。(3)					グループワーク
7	発表				5	発表
8	ヘルスプロモーションの概念と地域看護の活動方法の関連を学ぶ。					講義
9	個人と集団の健康を増進するための理論を知る。					講義
10	集団の健康を評価する理論と地域看護活動計画立案の概要を知る。					講義
11	集団の健康を評価し、健康を増進するための戦略を立案する。(1) ポピュレーション戦略とハイリスク者戦略					グループワーク
12	集団の健康を評価し、健康を増進するための戦略を立案する。(2)					グループワーク
13	集団の健康を評価し、健康を増進するための戦略を立案する。(3)					グループワーク
14	集団の健康を評価し、健康を増進するための戦略を立案する。(4)					グループワーク
15	発表とまとめ					発表
16	＊講義計画は変更することがあります。					
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		国民衛生の動向 三訂 地域看護学	津村智恵子 編著	厚生統計協会 中央法規	2,800円・最新版 2009	
参考書						
その他の資料						
【評価方法】 試験あるいは課題レポート 出欠席と授業参加状況			【履修上の留意点】			